



被ばく牛を守り抜いた農家と 見つめ続けた研究者たちの軌跡

映画「被ばく牛と生きる」岩手県初上映 被ばく牛から得られた研究成果

日 時：5月25日（土）13:00～17:00

会 場：岩手大学教育学部1号館 北桐ホール（A21棟1階）

参加費：無 料（最大受付人数120名）

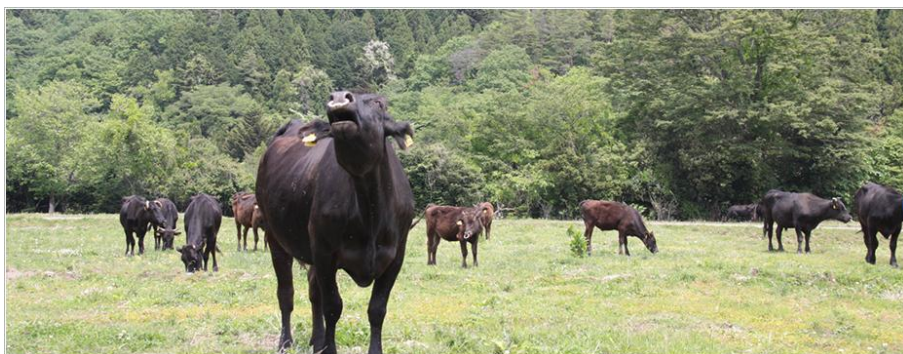
第一部：映画「被ばく牛と生きる」上映会

第二部：被ばく牛から得られた研究成果

1. 原発事故被災動物と環境研究会の活動紹介（岩手大学 岡田啓司）
2. 環境汚染と外部被曝線量評価（北里大学 夏堀雅宏）
3. 内部被曝線量評価とDNA損傷評価（岩手大学 佐藤 至）
4. 甲状腺の病理学的評価（岩手大学 佐々木淳）

第三部：パネルディスカッション：被ばく牛への想いを語る

松原監督、福島の畜産農家、岩手大学LiveStock研究会の学生



参加申し込み方法

右上のQRコードから、またはメール（office@aen.jp）で、5月21日（火）までにお申し込みください。メールの件名は「シンポジウム申込」とし、参加者全員の氏名を記載してください。

主 催：（一社）原発事故被災動物と環境研究会、岩手大学LiveStock研究会

後 援：岩手大学農学部北水会、岩手日報社、科学談話会、毎日新聞盛岡支局、IBC岩手放送、めんこいテレビ、読売新聞盛岡支局、テレビ岩手

協 賛：ゾエティス・ジャパン株式会社、森久保薬品株式会社、MSDアニマルヘルス株式会社、共立製薬株式会社、物産アニマルヘルス株式会社、株式会社アグロジャパン、MPアグロ株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、一般社団法人日本小動物繁殖研究所 Bio Art

問い合わせ：050-5527-3801（担当 下川，渡辺）

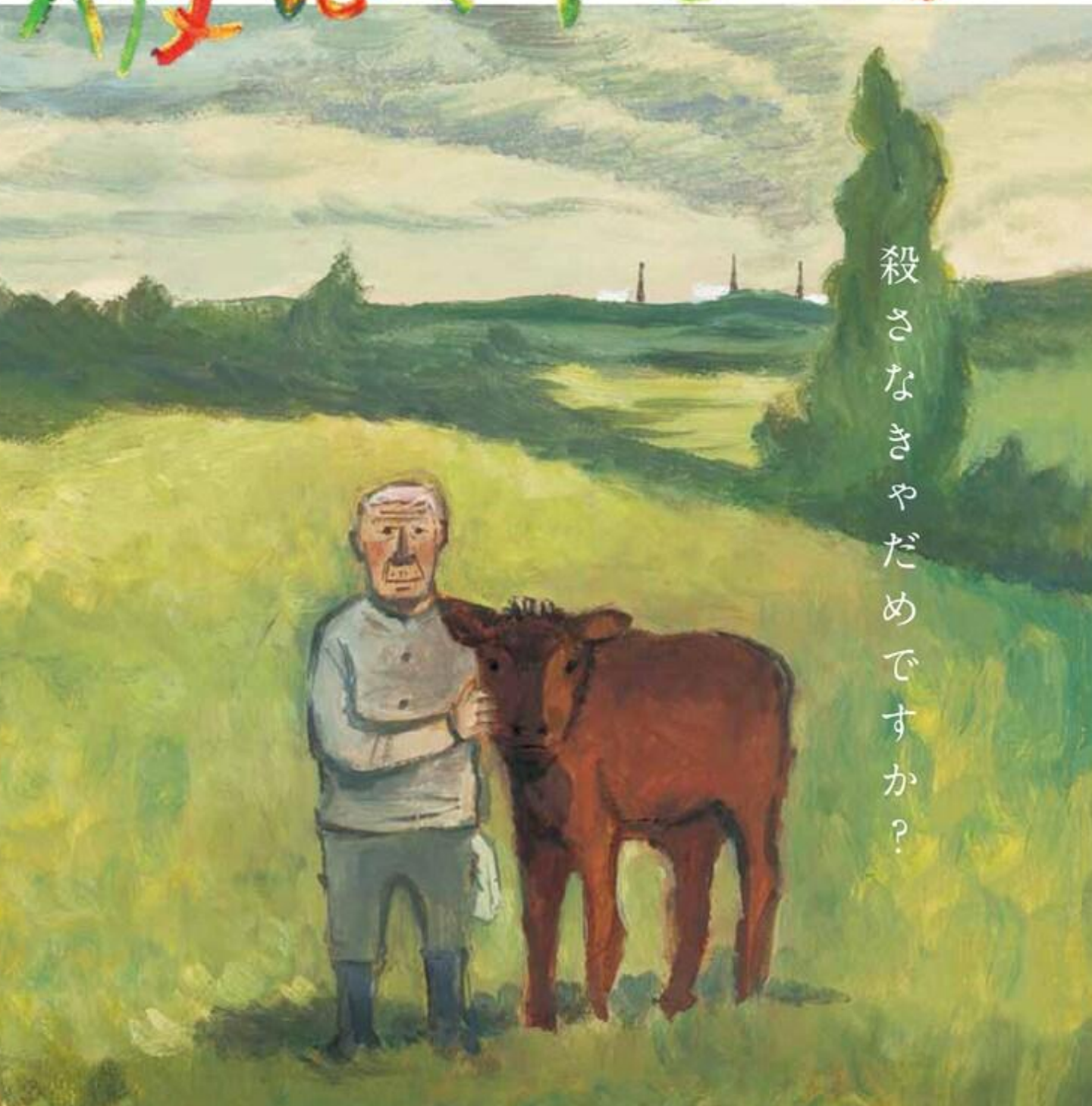
2016年
ヒューマンドキュメンタリー
映画祭〈阿倍野〉
招待上映

2017年 12月期
ハリウッド国際インディペンデント
ドキュメンタリー映画祭
最優秀作品賞、最優秀初監督賞

2017年
ドイツ・ウラン国際映画祭
招待上映

2017年 山形国際
ドキュメンタリー映画祭
「とら」あるCinema with Us 2017」招待上映

被ばく牛と生きる



殺さなきゃだめですか？

監督・編集 松原 保 プロデューサー 榛葉 健 ナレーション 竹下景子
出演 吉沢正巳 / 山本幸男 / 池田光秀 / 池田美喜子 / 柴 開一 / 渡部典一 / 鶴沼久江 / 岡田啓司 (岩手大学農学部教授) 脚本 日野松白 音楽 ウォン・ウィンツァン
撮影 名木政憲 / 田中義久 / 松原 保 監修 吉田一郎 プロダクション・マナー・ジャー 松原真理子 編集 バルシステム 協力 非営利一般社団法人「希望の牧場・福島」/
一般社団法人 原発事故被災動物と環境研究会 / ヒューマンドキュメンタリー映画祭〈阿倍野〉 / Tokyo Docs / 独立映画館 / Motion Gallery
制作 株式会社パワーアイ 配給・宣伝 太秦 [2017年 | 日本 | DCP | 104分 | カラー | 16:9] ©2017 Power-I, Inc.
<http://www.power-i.ne.jp/hibakuushi/> 絵 吉田尚令